

## 多職種連携実践研修会 ～在宅医療プロフェッショナル大作戦in長野～ 「多職種連携で在宅医療は変わる」

日時:平成26年1月11日(土) 13:30～16:30

場所:浅科交流文化館「穂の香ホール」

参加者:125名

講師:福井県福井市 在宅医療専門医院「オレンジホームケアクリニック」  
紅谷 浩之 院長

スタッフ:

広部 志行(ヒロベ シュキ)	プロデューサー
川村 尚孝(カワムラ ナオタカ)	在宅医療コンシェルジュ
川瀬 佳苗(カワセ カナエ)	在宅医療看護師
伊藤 順幸(イトウ ノブユキ)	コミュニケーションスタッフ
山崎 泰生(ヤマザキ ヤスオ)	イベント事務
竹内 寛子(タケウチ ヒロコ)	アシスタントプロデューサー
宮武 寛知(ミヤタケ ヒロトモ)	医師
西出 真悟(ニシデ シンゴ)	在宅医療プランナー
廣瀬 貴美(ヒロセ タカミ)	初期研修医



### 在宅医療地域リーダーについて

平成24年度長野県では、在宅医療をリードする医療福祉従事者を育成するために、県医師会と共催し研修会を開催した。平成25年度は、その活動を地域レベルで発展させることを目標としている。

これを受け佐久市では、「在宅医療の推進」、「医療・介護連携の促進」をテーマに研修会を企画。これが今回の多職種連携実践研修会である。

### 在宅医療専門医院「オレンジホームケアクリニック」の紹介

「オレンジホームケアクリニック」は紅谷医師を中心に、24時間365日、在宅医療を提供している診療所である。患者さんが「住み慣れた場所で、幸せに自分らしく生きて行く」ことをモットーに、単なる医療の提供ではなく、患者さんの夢や希望を反映した医療活動を展開している。



## 参加者の感想

今まで佐久市内でも、多職種が集まり事例検討を行う機会は存在したが、今回のように100名を超える大規模で、また寸劇を通して事例を考えるような機会はなかった。そうしたなか、参加された方々も様々な感想を抱いたようである。

実際に研修に参加された方達から多く聞かれた意見としては、寸劇を軸に研修が進行したことで、紹介事例をより身近な課題として捉えることができたとのこと。これは寸劇が実際に目の前で繰り広げられることで、事例内容がより具体性を持って参加者の心に伝わった結果だと思われる。

また今回大規模な研修会となったことで、今まで知らなかった方、関わりの薄かった職種の方達と交流を持つことができ、連携の輪が広がったとの意見も多く聞かれた。研修会が社交の場としても機能していることが伺える。

その反面、寸劇を引き立たせるために音響・照明が多様されたことに対し、不快な思いをされた方も一部いらっしゃった。大音量・チカチカした照明については今後配慮する必要があると思われる。

## まとめ

今回の研修会には市内の医療福祉従事者を中心に、125名の方が参加された。研修会では19グループに分かれグループワークを実施。どのグループでも自身の専門職種としての立場をもとに、活発な意見交換が行われた。なかには職種の垣根を越えた総合的な視点で討議されているグループも見受けられた。

今回のように普段はあまり交流することのない方達が膝を交えて話し合うことで、時に自分では思いもよらない意見に遭遇することもあったかと思われる。そうした中で、多職種が協力し合い問題を解決していくプロセスを体感すると同時に、互いの立場を理解する大切さも学ぶことができた本研修会は、ご参加いただいた方達にとって実り多いものであったことと思われる。

研修会后、オレンジホームケアクリニックの方からお伺いした話しでは、「佐久の皆さんの連携意識の高さ、話の熱の入り方にびっくりした。これは他地域では見られない光景である」とのこと。

「多職種連携」は在宅医療、医療・介護連携を支える重要なテーマである。今後佐久の地で「多職種連携」がよりいっそう促進されるよう、関係者間での協力・検討を継続していきたい。